

秋田港の国際海上コンテナ戦略

～対岸諸国の経済発展を取り込む秋田港

東日本の産業振興を推進する秋田港～



応募港 秋田港
応募者 秋田県

秋田県の県政方針

ふるさと秋田元気創造プラン

- 対岸諸国の巨大市場を視野に入れた経済交流
- シーアンドレール構想推進による物流ネットワーク
- 国内外を結ぶ物流拠点を目指す

秋田県東アジア交流推進構想

- 秋田の優位性や特性を活かした経済交流
- ロシア極東地区、中国東北三省との物流ルート
- シーアンドレール構想を実現
- 秋田港の機能強化

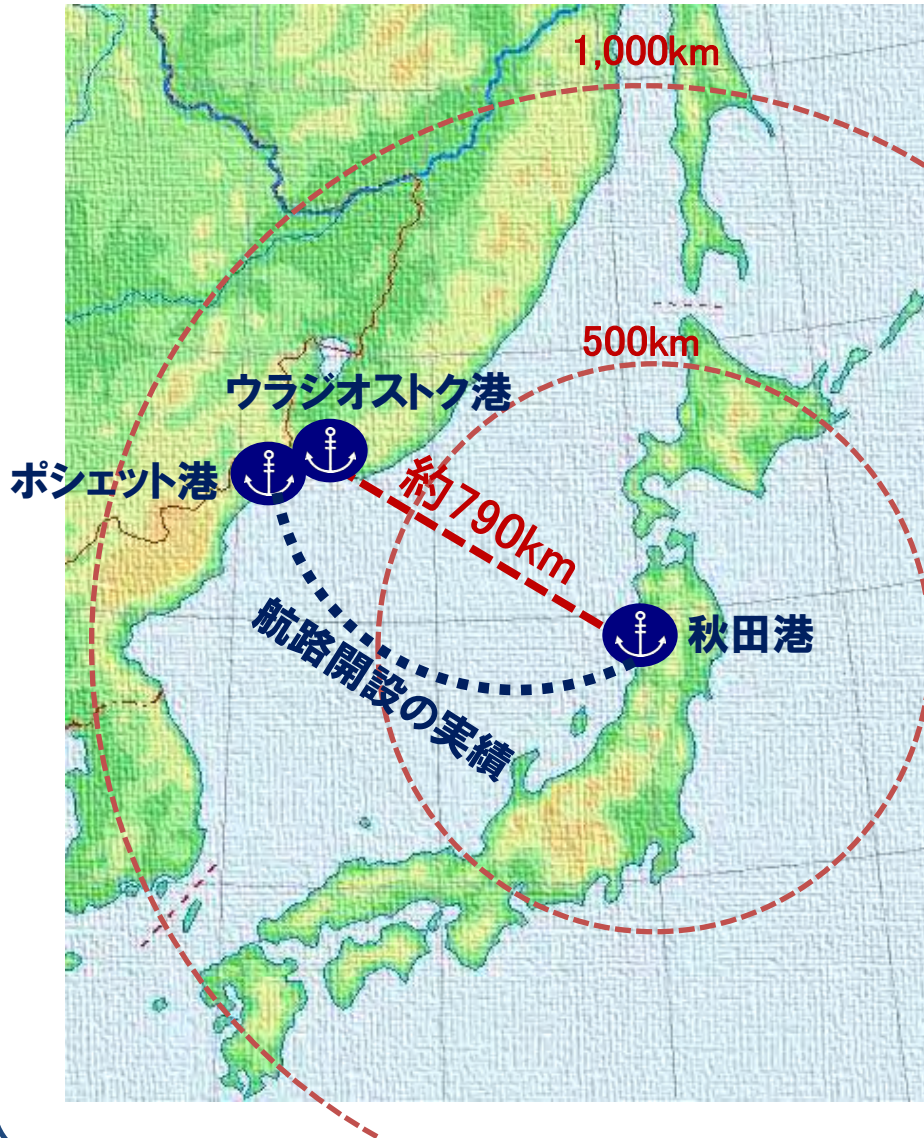
ロシア航路開設に向けた動き

- 2006年 8月 秋田沿海州航路誘致推進協議会を設立
- 2008年 7月 FESCO社と県が航路開設への覚書を締結
- 2009年10月 知事が極東ロシアを訪問
秋田港紹介セミナーを極東で開催（以後毎年開催）
- 2010年 3月 県とロシア沿海州地方政府が協定を締結
- 2010年 5月 日露知事会議で知事がモスクワ・極東ロシアを訪問
- 2010年 5月 ウラジオストクにロシアビジネスサポートセンターを設置
- 2010年 8月 知事をはじめとする700名の訪問団がウラジオストクを訪問
- 2010年 9月 秋田沿海州航路誘致推進協議会にロシア荷主会を設立
- 2010年10月 副知事が極東ロシアを訪問
- 2010年11月 副知事が韓国船社を訪問
- 2011年10月 副知事が極東ロシアを訪問（予定）
- 2012年 極東ロシアとの定期コンテナ航路開設を目指す**

環日本海地域の経済交流を活発化



秋田港の拠点性

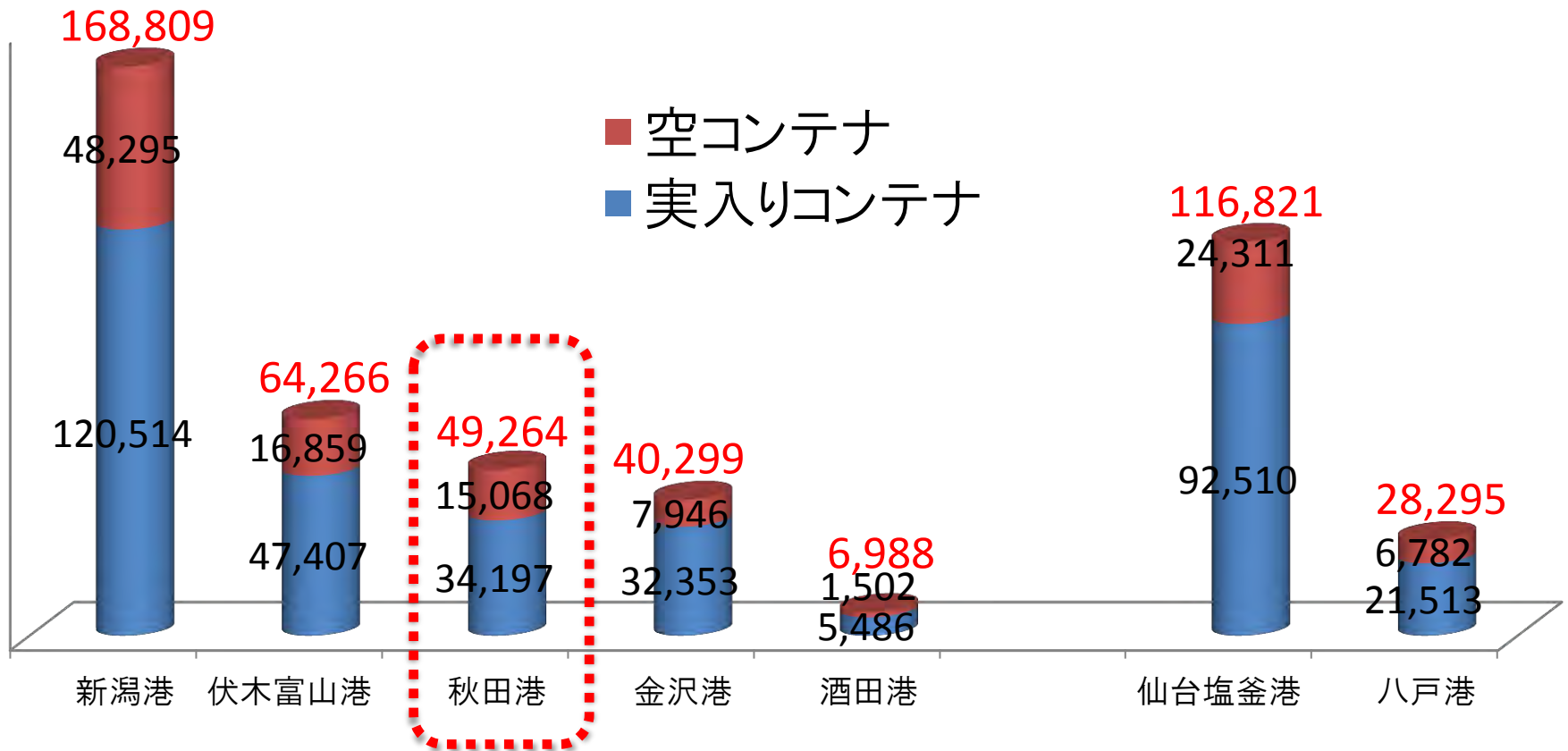


東北地方の高速道路網



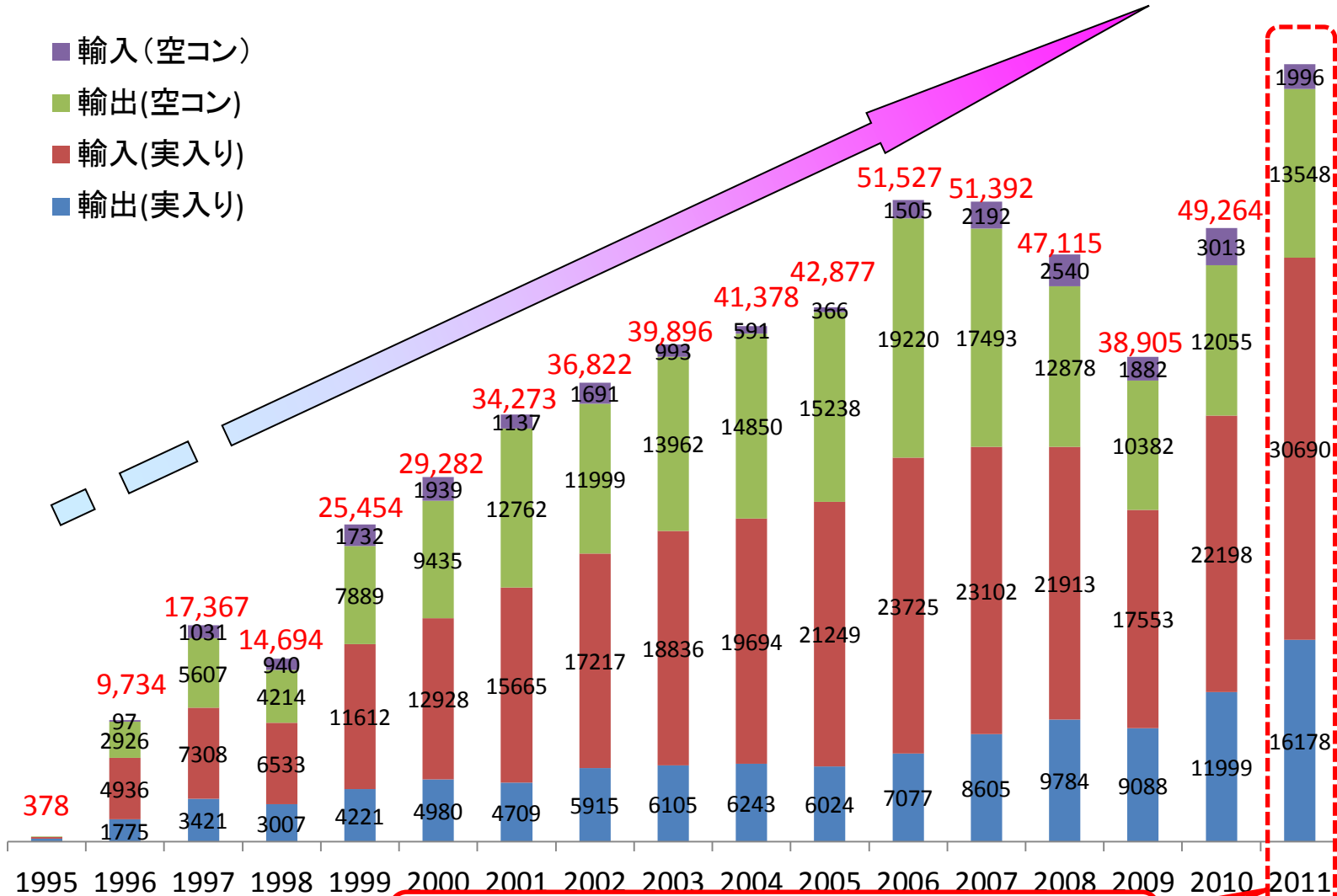
秋田港の拠点性

東日本各港のコンテナ取扱量（2010年）



コンテナ取扱実績 (TEU)

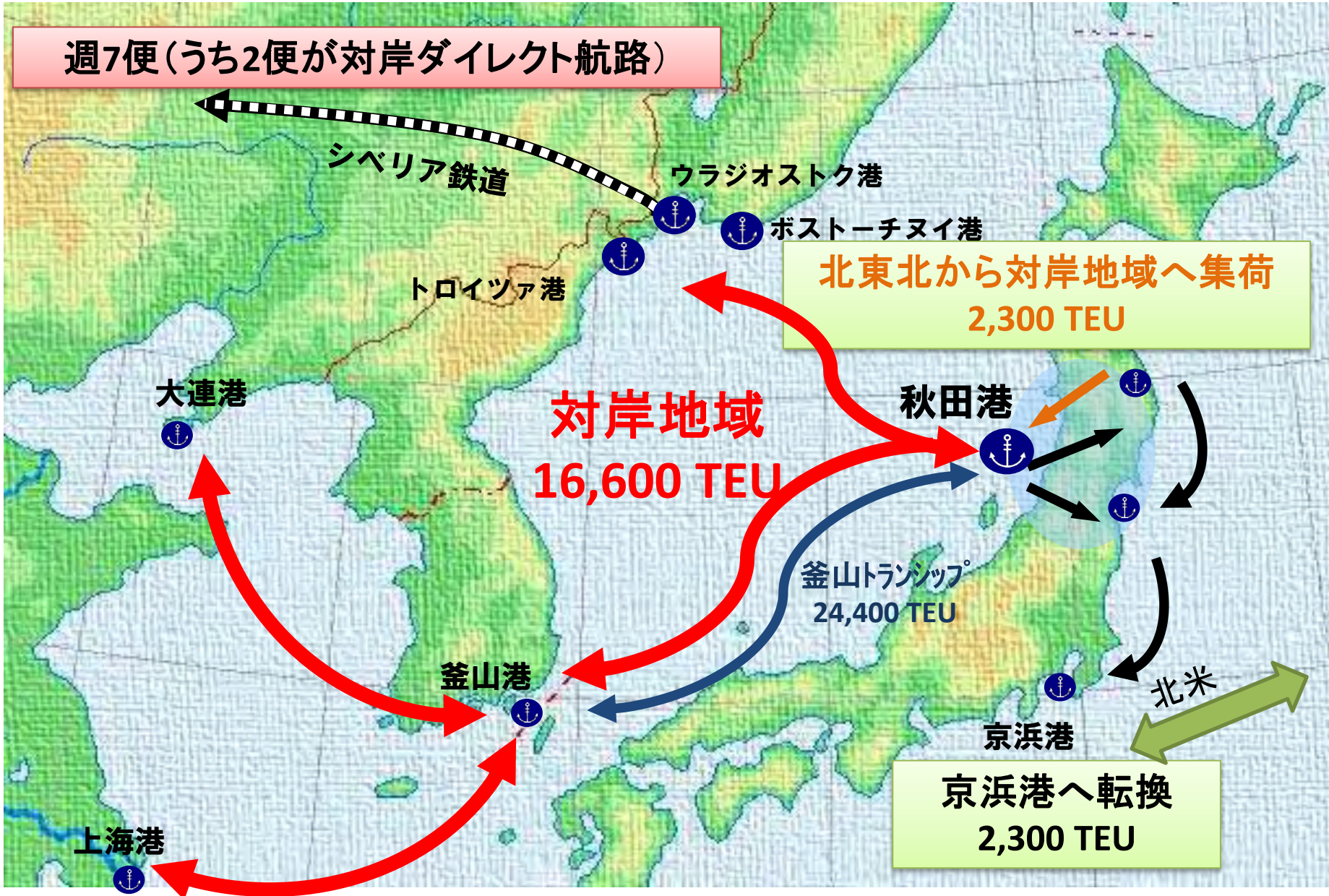
- 輸入(空コン)
- 輸出(空コン)
- 輸入(実入り)
- 輸出(実入り)



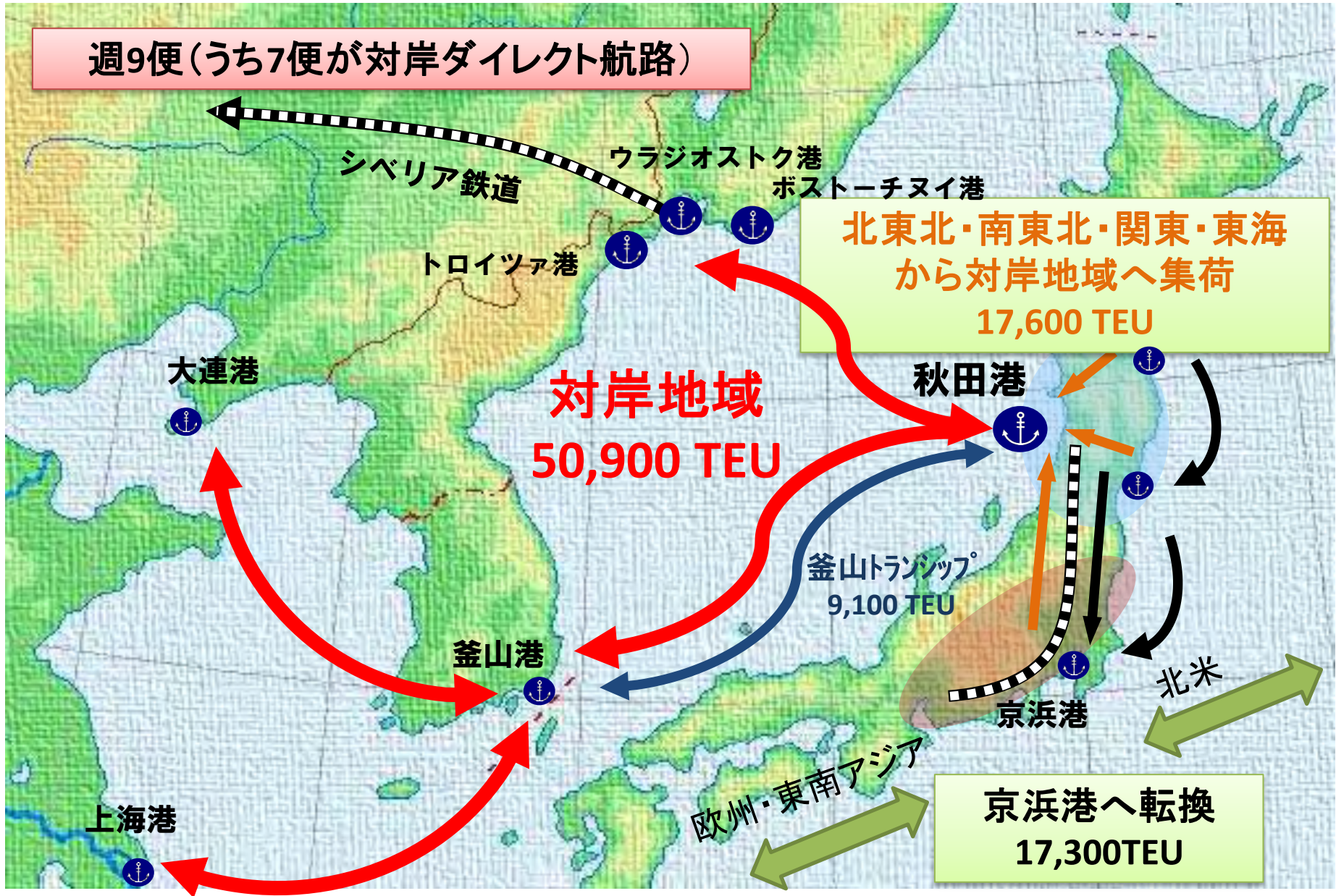
2011年見込み 62,400TEU

(1996年に比べ6倍以上増加)

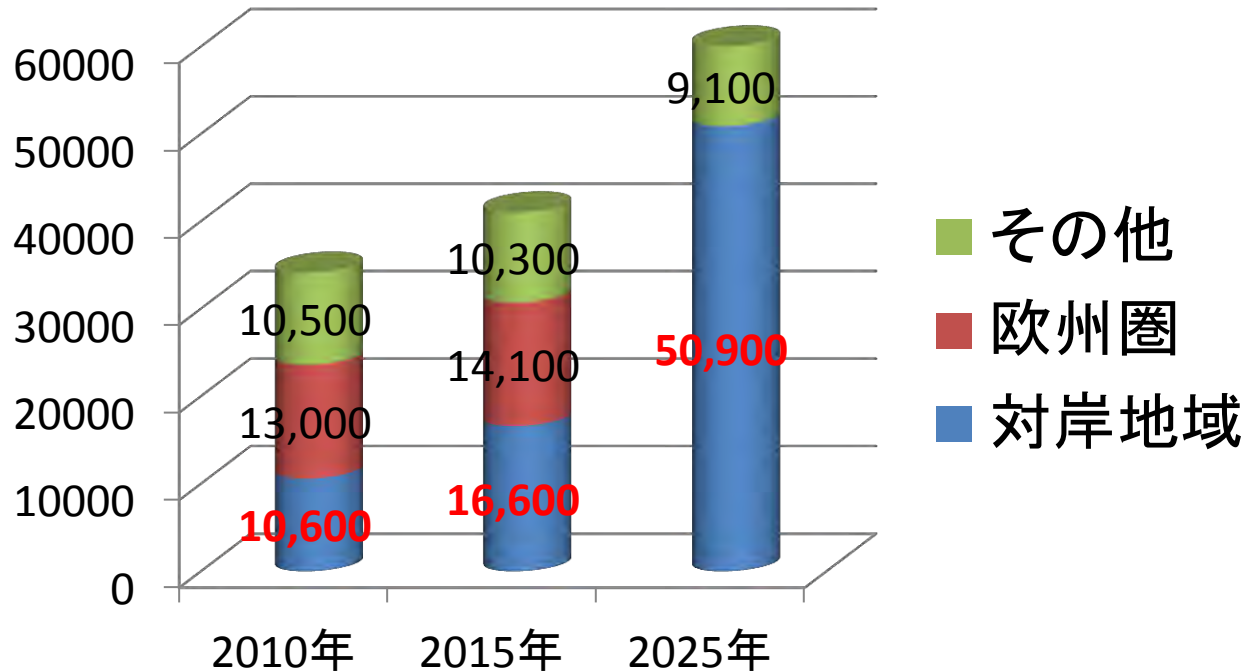
2015年までの目標貨物



2025年までの目標貨物



将来のコンテナ取扱量



年 度	秋田港取扱貨物量 (TEU)		定期コンテナ航路数 (便/週)		京浜港への 転換貨物量 (TEU)	
	うち 対岸地域貨物量	2010年比	うち 対岸ダイレクト航路数			
2010年	34,100	10,600		5	1	0
2015年	41,000	16,600	1.57倍	7	2	2,300
2025年	60,000	50,900	4.80倍	9	7	17,300

秋田港シーアンドレール構想



シーアンドレール構想の輸送実験

秋田港シーアンドレール構想推進協議会による
2008年・2010年



対岸諸国の動向

ロシア

- 交易玄関口として極東地域の重要性が増し、経済開発が進んでいる
- 資源・原材料の輸出から高付加価値製品の輸出への転換
- 海外からの資金・技術導入や工場誘致
- 資源の輸出制限と加工品での輸出奨励

中国東北部

- 成長の中心としての一層の役割拡大
- 「遼寧沿海経済ベルト地域発展計画」「図們江地域協力開発計画」
- 日本大手メーカー等外資の進出
- 産業の高度化、高速交通網の拡充
- 外資誘致、対外貿易拡大と物流拠点化

東北産業の動向

木材

- ・ 集成材は全国シェアの20%を生産
- ・ 今後は合板用単板輸入が増加

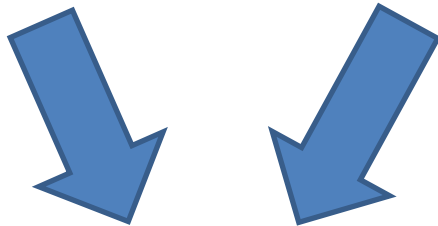


製材

北欧・ロシア

単板

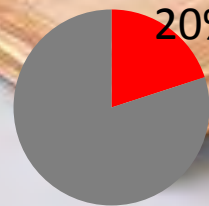
極東ロシア



秋田

合板生産シェア

20%



集成材生産シェア

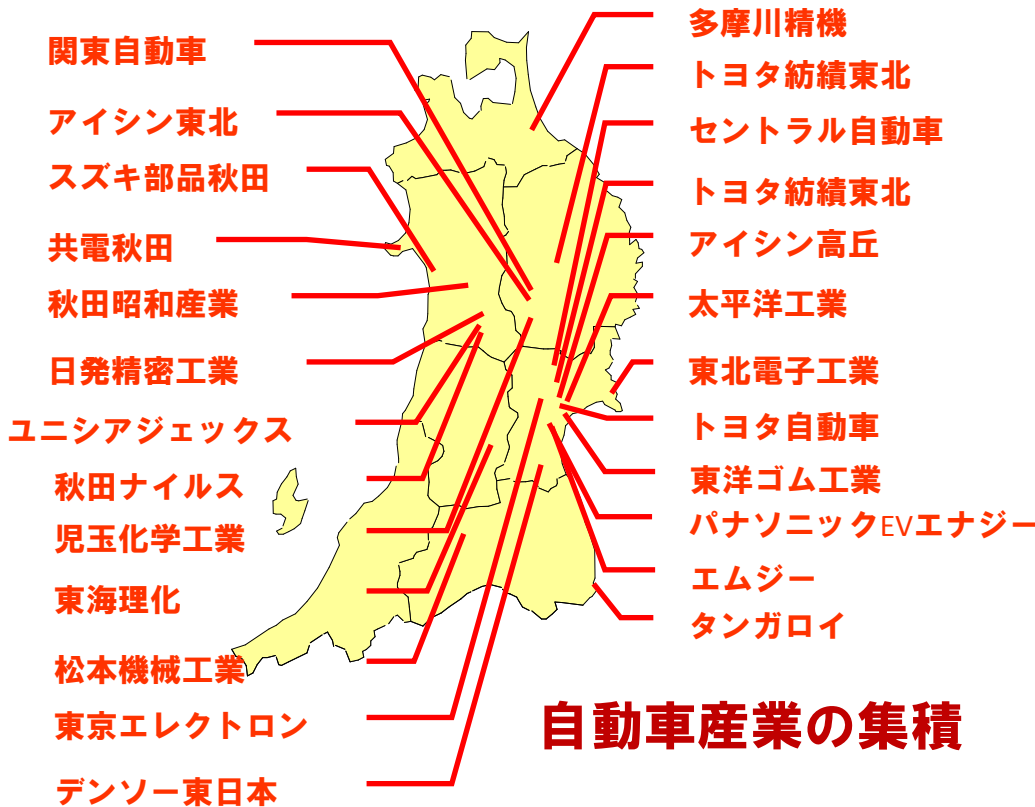
20%



東北産業の動向

自動車

- 東北地方に集積が進む
- 国内メーカー極東進出



2011年2月10日(木) 日本経済新聞 (1)

トヨタロシア極東で生産

12年メド 三井物産と乗用車、年3万台

トヨタは日本勢で初めてロシア極東で自動車を生産する

①ウラジオストク
 ・トヨタ、三井物産とソレルスの合併工場
 乗用車を生産へ

②ヤコフパテルブルク
 ・トヨタが「ベカム」を生産
 ・日産が「ティアナ」など生産

③タタルスタン共和国
 ・いすゞがソレルスと合併でトラック生産

④カレール州
 ・三菱自動車とPSAと合併工場、SUVを生産

⑤サマラ州
 ・日産、ルノーが12年からアフトラズと小型車共同生産

トヨタ自動車は三井物産、ロシア自動車大手「ソレルス」極東のウラジオストクで乗用車の生産を始める。トヨタが部品と生産技術を提供、三井物産とソレルスが設立する合弁会社が年3万台規模で組み立てる。日本の自動車メーカーが極東に生産拠点を置くのは初めて。ロシア政府は東部の産業振興協力を形に現地進出を促進する。ロシア自動車市場は3割増の伸びを示している。

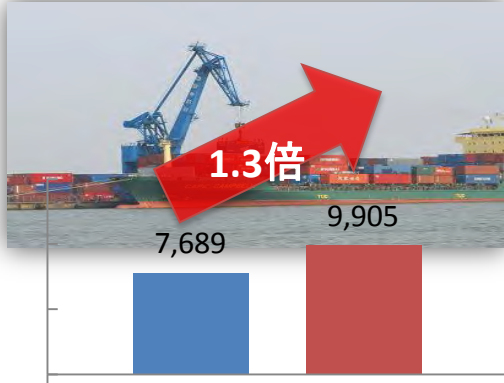
トヨタはロシア西部の自動車生産は「供給協力」が活発化する。ウラジオストクに「アチン」が日本メーカー可能である。三井物産はソレルスと合併して「カレール」が生産を始めた。折半合資の生産会社は設立を年2万台生産を目標として、北方露進の生産を促進している。ソレルスはロシアの生産拠点を増やして、北方露進の生産を促進している。ソレルスは

地に近い工場を活用し、数十億円を投じてトヨタの生産拠点を増やす。トヨタが部品を日本から輸出し現地を組み立てる。トヨタは新市場を開拓する。トヨタは生産技術を提供し現地産業を育成する。トヨタは2012年をめとして、ロシアの自動車生産を拡大する。トヨタはロシアの自動車生産を拡大する。トヨタはロシアの自動車生産を拡大する。

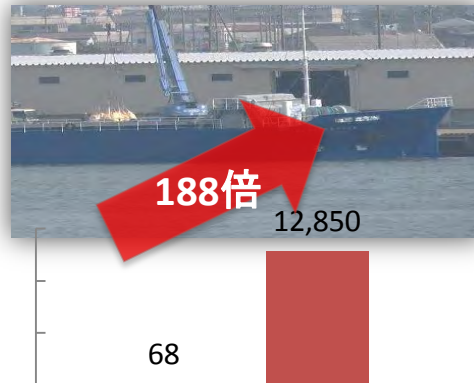
東日本大震災で多様な機能発揮

東北地方の物流・生産・エネルギーの拠点として

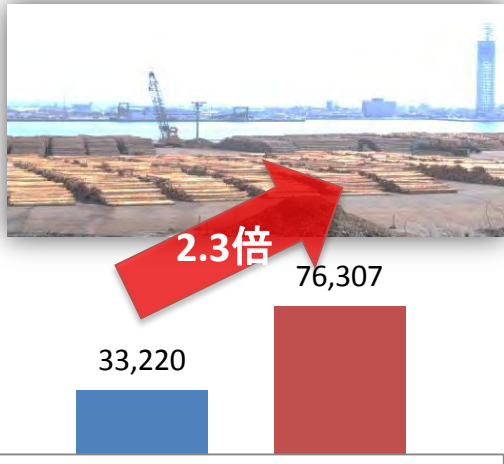
3～4月の貨物取扱量



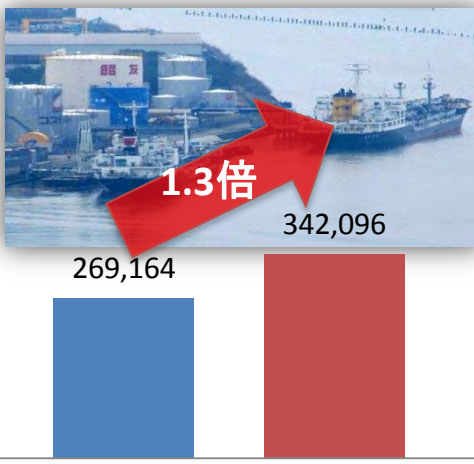
コンテナ(TEU)



飼料(トン)



原木(トン)



石油製品(トン)

■ 2010年
■ 2011年



完成自動車のスポット輸送



東日本大震災で救援隊の輸送拠点

- 救援隊 9,500名
- 車両 2,554両
- 米軍の揚陸艦の受入

自衛隊



消防隊



警察

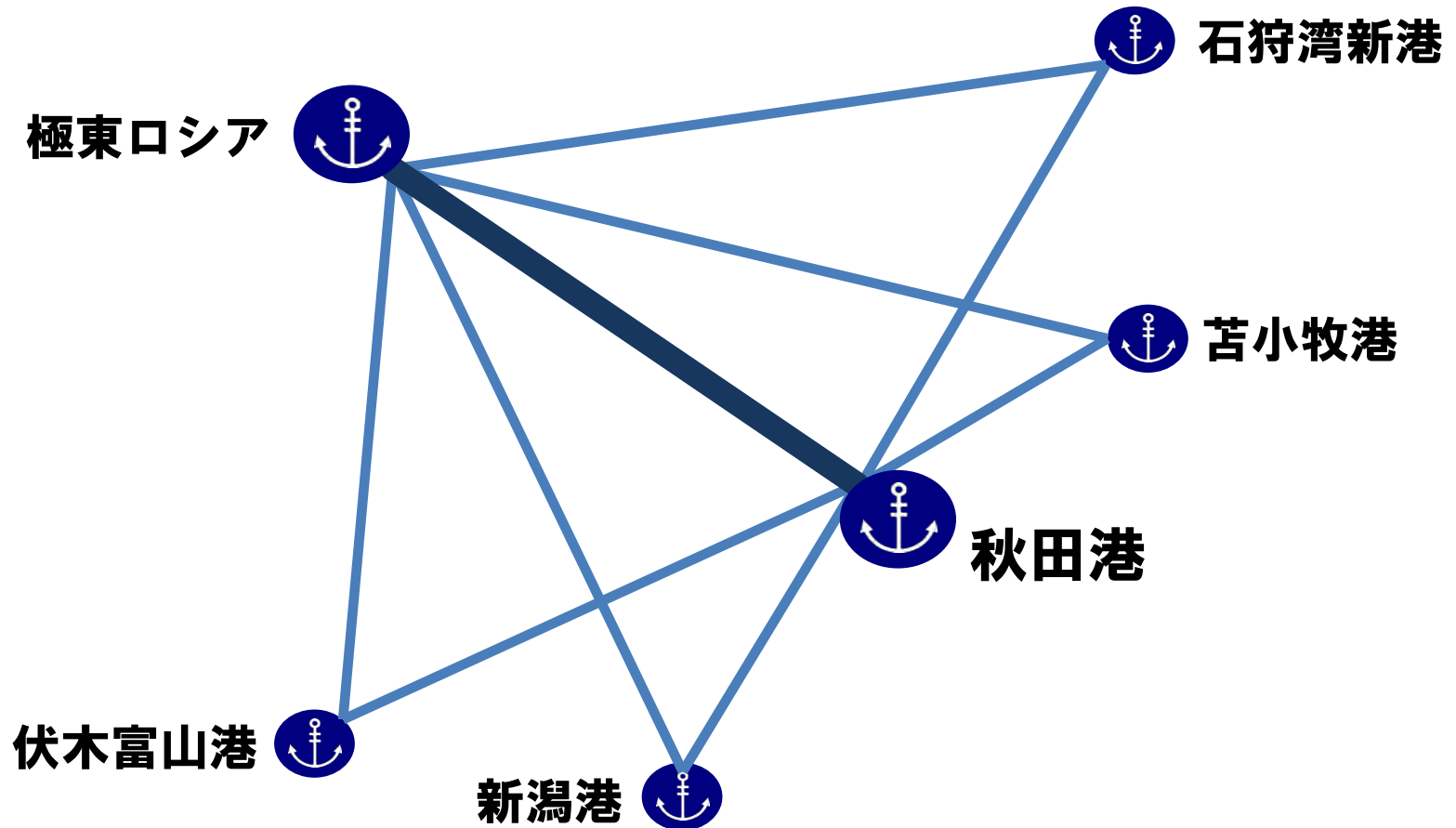


米軍揚陸艦

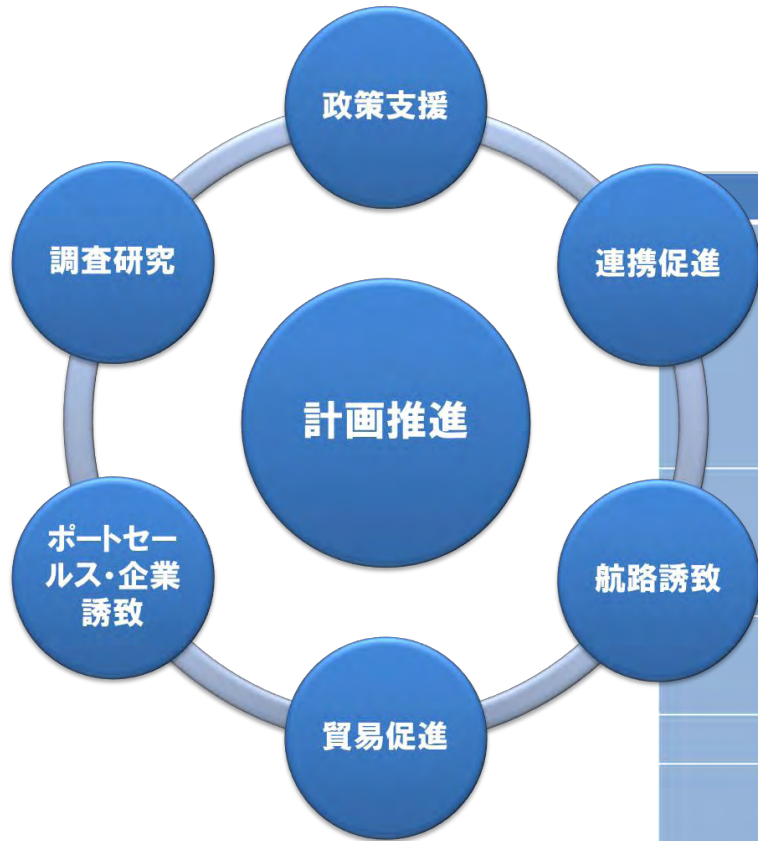


港湾間の連携

- 新潟港、伏木富山港、石狩湾新港、苫小牧港などと連携



推進体制



推進体制	
計画推進	秋田県
	秋田市
	秋田商工会議所
	秋田港シーアンドレール構想推進協議会
	秋田県環日本海交流推進協議会
政策支援	東北地方整備局
	東北運輸局
	函館税関
連携促進	北海道東北地方知事会
	【新】東北国際物流戦略チーム・環日本海戦略部会
航路誘致	秋田沿海州航路誘致推進協議会
貿易促進	社団法人秋田県貿易促進協会
	JETRO秋田
ポートセールス・企業誘致	秋田県
	秋田市
調査研究	【新】国際教養大学東アジア調査研究センター

施策の段階計画と予算

前期 (2011～2015年)

- 2012年にロシア航路開設
- 港湾機能の強化、取扱能力を100,000TEU/年に

中期 (2016～2020年)

- 国内物流のシーアンドレール輸送体系の確立
- 新規耐震強化岸壁を有するコンテナターミナルの沖合展開事業に着手

後期 (2021～2025年)

- シベリア鉄道を活用した国際物流としてのシーアンドレール輸送体系確立
- 沖合展開事業の完成



新国際コンテナターミナルの整備



現コンテナターミナル

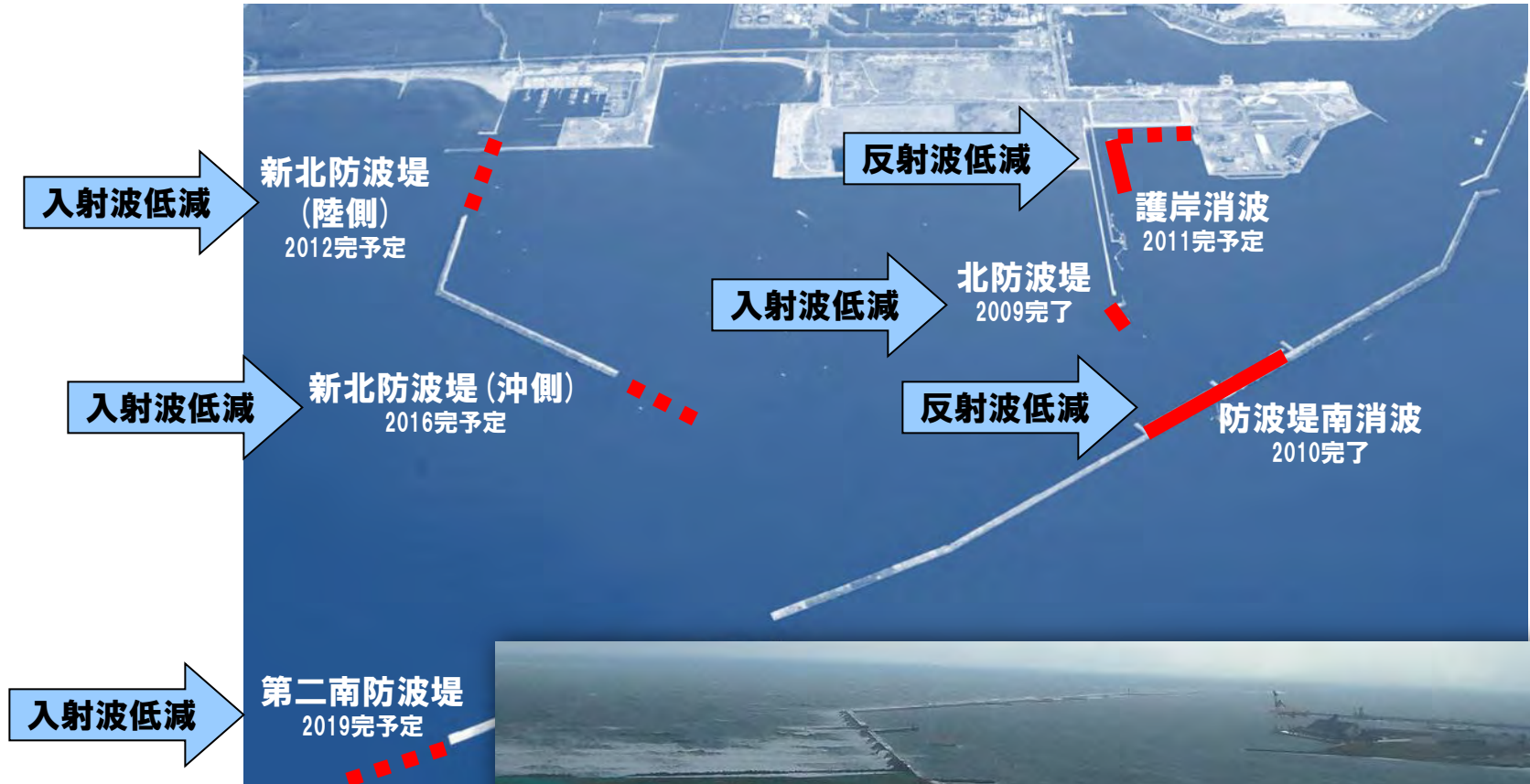
拡張計画

**新コンテナターミナル
2012年供用開始**

完成イメージパース図



静穏度対策



新規制度の提案

- 国の財政支援
- 新国際コンテナターミナルの機能強化・耐震化事業に対する支援
- 国内鉄道・シベリア鉄道の利用促進
- 邦船社へのインセンティブ
- 災害時の物流ネットワーク確保のための支援

物流の効率化

- 輸送時間の短縮
- 輸送コストの低減
- 国際物流リダンダンシーの確保

経済効果

- 東北地方の経済成長
- 東日本大震災からの速やかな復興